

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年2月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500039
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム 百美
所在地	鹿児島県日置市吹上町小野1478番地 (電話) 099-245-1570
自己評価作成日	令和2年11月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年2月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・職員が理念に基づき気持ちにゆとりをもって、ゆったりとした態度で対応し、家族のように親しみやすい雰囲気です。また、高齢者虐待、身体拘束、感染症、食中毒、事故・安全対策を毎月委員会や研修を行い職員のスキルアップをしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・運営推進会議は参加者に活動状況や写真などを郵送し、意見などを聞き、サービスに活かしている。
 ・身体拘束委員会を毎月開催し事例を出して研修を行っている。申し送り時は、身体拘束の三原則を唱和している。現在車いすから歩行に移行できた事例があり、拘束しない支援につながっている。
 ・年2回避難訓練を行い1回は消防署の指導を受け、後の1回は夜間を想定し自主訓練を行っている。スムーズに安全に避難するために、フロアに図面を掲示し、地域の協力もある。
 ・介護計画は紙記録媒体からパソコン入力ですべての事務作業をスムーズに行い、情報共有しやすい。先進機器の活用で業務の合理化につながり、その時間を利用者とのコミュニケーションの時間に確保できている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中でその人らしく生活できるように支援する理念をつくりあげ、申し送り後全員で唱和し実践につなげられるようにしています。	理念は重要事項説明書に記載し、スタッフルームやフロアに掲示している。毎日、理念や身体拘束についての三原則等を唱和し共有している。職員会議やミーティングで話し合い実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナの関係で現在地域との交流ができないが、運営推進会議や、電話等にて情報を聞いています。	コロナ禍の中、利用者は事業所周辺の散歩を行い、地域との交流は自粛している。介護ボランティアの訪問がある。電話や手紙などを活用している。自治会長から週報をもらい地域の情報を得ている。移動パン屋の訪問販売は利用者の楽しみになっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成の貢献として実習の受け入れやボランティアの受け入れを行い、認知症についての理解や支援をしていただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの内容や外部評価の結果報告を行ったり、現在新型コロナの影響で書類のみの発送想もあるが、意見用紙に書いていただき返信していただいています。その後職員全員で検討しサービスの向上に活かしています。	コロナ感染防止の為、委員へ事業所の活動状況や行事写真などを郵送し、意見などを返信して貰っている。自治会長からも週報を貰い、地域情報や意見をサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入居者様や、ご家族様の相談に出向いたり、電話等により聞いたり、運営推進会議にて困難事例等を相談したり、百美だよりをお渡ししたり、協力関係を気づくように取り組んでいます。</p>	<p>市職員とは電話相談や事業所報告で連携を取っている。毎月「百美だより」や運営推進会議の報告書を送付し、取り組み状況を伝えて情報を得て、協力関係を築けるようにしている。福祉事務所職員とも、利用者の状況等で連携を取っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月1回身体拘束委員会を開催し、他施設の事例や事業所で困っていることをあげ身体拘束をしないケアはどうしたらよいか、また、申送り後身体拘束の三原則や、高齢者虐待には何があるかなどを唱和して身体拘束をしないケアに取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束委員会を毎月開催し事例を出して、研修を行っている。申し送り時は、身体拘束の三原則を唱和している。身体拘束をしないケアで、現在車いすから歩行に移行できた事例があり、拘束しない支援につながっている。玄関の鍵は昼間はかけていない。職員がゆとりを持って支援し利用者も安心して生活している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされないことがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃より職員同士の言動や行動に注意を払い、毎月1回勉強会や委員会、ミーティング等にて高齢者虐待法について学ぶ機会を持つなど、防止に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	誠心会全体による勉強会等に参加し、自施設でも勉強会により全職員に学ぶ機会をもっている。対応車が必要と思われる利用者がある場合には、運営者の指示により説明、アドバイスをを行い支援できる体制となっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、事業所の考え方や取り組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行っています。また、起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応、医療連携の実際について詳しく説明し、同意を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	新型コロナにて面会ができないため、アンケートや電話等にて気づいたことや、ご意見を聞かせてもらっています。	利用者とはくつろいでいる時や入浴中・夜眠れない時など、話をして、必要な事柄や言葉を記録している。家族からは電話やアンケートなどで意見や要望を聞き、職員で情報共有して運営に反映している。家族より、窓ガラス越しに面会したが、窓ガラスが汚いという意見があった。意見や要望は、早急に積極的に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや勉強会を行い意見を聞いたり、日頃から意見や要望を言いやすい雰囲気づくりを行っています。	管理者は職員が意見を出しやすいように日常からコミュニケーションを大切にしている。アンケートや電話を利用し、意見や提案、自由に話す機会がある。気づき等を業務日誌に記載し定例会議で検討している。改善策はサービス向上に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月ミーティングや勉強会等を行い、職員や現場の状況を報告し、問題点を話し合い向上心を持って働けるように、現場環境・条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年新型コロナのせいで事業所外での研修が受講できないが、事業所内での研修を毎月行いミーティングや勉強会で情報交換等を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の職員と意見交換や相談を行いサービスの質の向上をさせています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談受付時や契約時にご本人より可能な限り情報収集を行っています。また、求めていることや不安を理解し共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談受付時や契約時にご家族さながら可能な限り情報収集を行い不安なこと、要望等に耳を傾け、関係づくりに取り組みたいです。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談を受けた時、入居者様やご家族様の思い、状況を確認し、改善に向けた支援の提案や相談を繰り返す中で信頼関係を気づきながら、必要なサービスにつなげるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、普段から入居者様に教えていただける場面が多く持てるように工夫や声掛けに配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしの出来事や気づきの情報共有に努め、入居者様のご家族様に月1回その月の行事の風景の写真や状況を添えて送付必要に応じて電話をさしあげたり、ご本人を支えていくための協力関係を気づいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の一人ひとりの生活習慣を尊重し、これまでの経験を生かした暮らしができるよう支援しています。また、新型コロナのため外出が制限されているため、電話でご家族様と話をさせていただいて支援しています。	これまでの馴染みの関係性がコロナ禍で難しくなっている。窓越しでの対応や電話などで工夫して途切れないようにしている。リモートなどを活用している。家族が写真等の差し入れを持ってきている。それ以外の出入りは自粛している。職員は、電話で利用者と家族を支えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のお茶や食事、レクリエーションの時間に感染防止対策を行い会話をもち、みんな楽しく過ごす時間や場面がとれるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了された方も、ご家族様の相談にのり継続的な関係心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中での会話や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。また、意思疎通が困難な方には、ご家族様や関係者から情報を得るようにしています。	職員は利用者とできるだけコミュニケーションの時間を取るように努め、思いや意向を日常の会話や動作・しぐさなどで察知し、記録している。困難な利用者は家族からの情報を聞き、本人本位の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に関係者から聞き取りをしたり、契約時に暮らしの情報や生活環境に関してお聞きし、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来ないことより出来ることに注目し、入居者様の一人ひとりの状態を把握しその人全体のはあくにつとめている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様が自分らしく暮らせるようご本人やご家族様の要望を聞き、職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っています。	本人・家族の希望を受け入れ介護計画を作成している。モニタリングは毎月実施しモニタリングを行い経過を確認して改善点や支援の方法を改めたりしている。カンファレンスも毎月実施している。6ヶ月毎に実施状況の評価を行い、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の記録に気づきや入居者様の状態変化を記載し、職員間の情報共有をしています。また、個別記録をもとに介護計画の見直し、評価を実施しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常生活の中でご利用者様一人ひとりのニーズに取り組んでいます。また、ご利用者様やご家族様のご要望に応じて多機能について説明をおこなっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流や消防等周辺施設からの理解・協力が得られるよう取り組んでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族様が希望するかかりつけ医となっています。主体が病院なので医療連携はもちろん、適切な医療が受けられるように支援しています。	本人及び家族の希望するかかりつけ医となっている。併設の医療機関による訪問診療も実施している。他科受診は家族の同行となっている。医療機関や訪問看護ステーションとの24時間医療連携体制が確立している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職員として看護職員も配置しているが、他、訪問看護との契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言をしてもらい、職員と訪問看護師とは気軽に相談できる関係ができており、看護師と医療機関との関係も密にとれる体制が確保されている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、ご本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供しています。新型コロナの関係で見舞いに行くことはできないが、洗濯物を取りに行ったときに看護師より情報をいただいでご家族様に情報を伝え、速やかな退院支援に結びつけています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に終末期看取りに関する説明を行い、終末期看取りになった場合には、ご本人、ご家族様の希望をもう一度確認し、ご家族様、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしています。</p>	<p>契約時に終末期や看取りのマニュアルや指針を説明し同意を得ている。利用者の状態や状況を判断し、医師、利用者、家族、看護師、介護士等で方針を共有し支援に取り組んでいる。重度になり終末期を迎えたら随時かかりつけ医・家族と連携をとり段階的に話し合い家族から同意を貰って進めている。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>月1回のミーティングや勉強会また、日頃より、緊急対応について勉強しており、職員全員が初期対応ができるようにしています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回入居者様、地域の方と一緒に避難訓練を行っていますが、今年度は新型コロナの関係で地域の方の参加は遠慮していただきました。運営推進会議や連絡網にも記載し、協力をお願いしています。</p>	<p>年2回避難訓練を行い1回は消防署の指導を受け、後の1回は夜間を想定し自主訓練を行っている。スムーズに安全に避難するために、フロアに図面を掲示し、地域の協力もある。備蓄は、水・インスタント食品・筑前煮・ビーフカレー・すき焼き等、副菜中心にある。火元がすぐ解るように監視盤が設置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの尊厳を重んじ、勉強会やミーティング時に、個々に合わせた言葉遣いや対応を心がけるよう全職員に周知しています。	権利擁護や人格の尊重を大切に勉強会で意見を出し合ったりしている。レクリエーションの種類も多く利用者本位で選択し活動している。言葉遣い・入室時のノック・排泄・入浴介助等のプライバシーにも配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、入居者様の言葉、行動等により、希望、関心、嗜好を見極め入居者様が選びやすい場面をつくったり、入居者様の意思を尊重するようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースに合わせた生活ができるように、お一人お一人の体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ個別性のある支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣は、入居者様の意見を尊重し、必要な方には、職員も一緒に考えたりと入居者様の気持ちに沿った支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	新型コロナの関係で一緒に買い物や調理ができないが、一人ひとりの好みを聞き献立にとりいれながら、楽しく食事ができる雰囲気大切にしています。	献立は職員で好みを聞いたりして作成し、副菜は業者に依頼し提供している。皮むき・皿拭きなど職員と一緒にいき、食前に嚙下体操を実施している。プランターで栽培した野菜を食材にしたり、手作りギョーザ・焼きそば等をつくって楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量を毎回チェックし、職員全員が入居者様の食事状況を把握できるようにしています。状態に応じて職員で検討したり、管理栄養士に相談して食事形態を変更するなどの工夫を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎月1回歯科医師舌・義歯洗浄・口腔ケア及び指導を受け、毎食介助にて口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や介助を支援しています。尿意のない入居者様は時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄できるよう支援しています。	全員がトイレでの排泄ができるように、排泄チェック表に記録しミーティングで排泄パターンを個別に話し合い、自立に向け支援している。夜間はポータブルトイレを使用する場合もある。便失禁対応は、食前に、便秘の場合は食後に誘導している。オムツの量が減少したり、布パンツに改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や、散歩、軽体操等により自然に排泄できるように取り組み、必要に応じて医療連携により主治医に相談しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入居者様に声掛けを行いご希望を確認し、いつでも入浴ができるように努力しています。	何時でも入浴できる環境を設定し、殆どの利用者が週に3回程の入浴をしている。浴槽の高さや段差を無くし安全管理に努め、入浴中は利用者から目を離さないようにしている。シャワー浴や足浴・清拭など、状況に合わせて支援している。入浴剤も好みにより使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や表情を考慮し、日常の生活を促し、夜間の安眠へとつなげている。寝付けないときには、おしゃべりしたりする等配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表を介護記録につけ、職員全員が把握できるようにしている。服薬後も異常、変化がないか注意し異常があればすぐに病院、主治医へ連絡するようになっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手芸等の活動で、お一人お一人の生活歴に応じた力を発揮してもらえるようお願いし、その後感謝の言葉をかけるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>新型コロナの関係で外出が制限されていますが、少人数でのドライブや壁紙を変えたりして、季節を感じてもらえるように支援しています。</p>	<p>コロナ禍で外出支援が実施できなかったが、少人数で駐車場で桜の花見や写真を撮り楽しんでいる。事業所内で体を動かすことなども積極的に取り入れている。年間行事計画を作成しているが自粛している。受診の帰りにドライブで花見や自宅付近迄出かけて季節を味わっている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>新型コロナウイルスの為、外出の制限があり、買い物等が行けないのでお金を使う機会がありませんでした。施設内で喫茶をし、お金（作り物）を使ってもらせる機会を作りました。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>暑中見舞いや、年賀状を書いていたいたり、ご家族様や、知人等に電話しやすい雰囲気をつくり、日常的に手紙や電話ができるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様にとって使いやすい配置や馴染みのものを取り入れ家庭的な雰囲気になるように心がけ、壁紙は、入居者様と考え季節あるものにしていきます。</p>	<p>ユニット間は自由に往来できる様になっている。温・湿度はセンサーで管理し、換気に配慮している。フロアの壁には、利用者と職員で作成した干支の貼り絵やさくらの花の拡大写真を掲示している。個人写真はファイルにして家族が閲覧できるようにしている。バリアフリーで手すりも設置し、安全管理をしている。新聞をフロアで読んでいる利用者がいたり、大型テレビやソファ・畳ベッドがあり、ゆったりと過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自室やフロアにて、個々にくつろいでいただいたり、気の合った方々と新型コロナのためボードごしに話をさせていただいています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、写真や入居者様が作った手作りカレンダー等入居者様それぞれの居室作りが行われるよう配慮しています。</p>	<p>居室は、本人や家族の写真・テレビ・手作り作品・職員が誕生日にプレゼントした色紙を掲示している。乾燥しないように濡れタオルをかけている。自宅で使っていた小物などがあり、個性豊かな生活、安心できる過ごしやすい部屋になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーで設計しており、いたる所に手すりなども設置しており、居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない